

競馬関連機材等有効活用事業に係る情報提供

平成29年10月5日
公益社団法人 競走馬育成協会

H29-2回-7号

対象機材名	フォークリフト
数量	1台
提供者	JRA日高育成牧場
これまでの利用場所	札幌競馬場で使用後、平成9年から日高育成牧場
取得年月日・価格	昭和61年(西暦1986年)12月19日 (取得価格1,953,000円)
機材情報	<ul style="list-style-type: none">◆車名 トヨタ 型式 5FGL20◆最大荷重 2,000 kg◆アワーメーター 3,736 h◆その他 ・大きな損傷は無いものの各所に錆や傷みは目立つ。 ・後タイヤが損耗し亀裂もある。 ・方向指示器が不点灯です。
売却価格	無償
その他費用	積込・運搬費用は取得者負担
その他	機材区分：馬場管理車両系[4]
引渡し場所	JRA日高育成牧場
引渡予定日	抽選日以降いつでも可。ただし月～金で
募集締切日	平成29年(2017)11月 9日(木) 12時
抽選予定日	平成29年(2017)11月14日(火) 11時

日高 フォークリフト写真

①側面



②正面



③斜め側面



④運転席



⑤後タイヤ



・外観上大きな損傷等は見られないものの、各所に
錆びや傷みが目立つ。

・後タイヤは磨り減っており、亀裂もある。

・方向指示器が不点灯です。

エンジン式フォークリフト

特定自主検査記録表

3年間保存

証明書
発行日
平成29年5月9日

様式SR-LE-01-D

建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出
の抑制を図るために指針に基づく検査共用証明書
発行No.

標章No. 082918

メーカー名	トヨタ	管理番号	浦河町848	使用者住所	北海道浦河郡浦河町字西舎528
型 式	5FG-L20	走行距離	— km	氏名又は名称	公益財団法人軽種馬育成調教センター
製造番号	5FG-L-25-10353	アワーメーター	3736 h	機械管理者氏名	湯地達彦
性 能 (最大荷重)	2000 kg	車検有効期間	— 年 — 月 — 日	検査業者登録番号	
検査実施場所	浦河町西舎528			検査業者又は事業者 住所・名称	浦河郡浦河町字西舎528 公益財団法人軽種馬育成調教センター
検査年月日	平成29年5月8日	検査者 氏名	志村和貞	責任者名	小林光紀

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法		検査結果 良 不良	補修 内容
				目視	操作、聴診		
エンジン ジ ン	1	本体	★ a 始動性 ※ガス漏れ、水漏れが認められない場合は、この検査を省略してもよい。	かかる具合、異音、予熱栓・ヒーターの作動	目視、操作、聴診	✓	
			★ b 回転の状態	アクセルの作動回転具合	目視、操作、聴診	✓	
			★ c 排気の状態	排氣色、排氣音、排氣管・マフラー等のガス漏れ	目視、操作、聴診	✓	
			★ d エアクリーナー	ケーブルのき裂、変形、絶縁、エレメントの汚れ・損傷、油量	目視、触診	✓	
			★ e 締付け	シリンダーヘッド、マニホールド締付けボルト・ナットの緩み	トルクレンチ	✓	
			★ f 弁すぎ間	弁すぎ間(吸最大 mm・最小 mm)(排最大 mm・最小 mm)	シックネスゲージ	✓	
			★ g 圧縮圧力	圧縮圧力 (MPa) 1 2 3 4 5 6	圧縮圧力計	—	—
			★ h 噴射圧力	噴射圧力 (MPa) 1 2 3 4 5 6	ノズルテスター	—	—
			★ i 噴霧状態	噴霧状態 良○・不× 1 2 3 4 5 6	目視、ノズルテスター	—	—
			★ j 過給器	異常振動、異音、ガス漏れ、潤滑油漏れ	目視、聴診	—	—
			★ k エンジンマウント	ブレーカーのき裂、変形、絶縁、脱落、防振ゴムの損傷・劣化	目視、レンチ等	✓	
動力伝達装置	2	潤滑装置	★	油量、汚れ、油漏れ、エレメントの汚れ・損傷	目視	✓	
	3	燃料装置	★	燃漏れ、ホース及びパイプの損傷・老化・フィルターの汚れ・詰まり	目視	✓	
	4	高圧ガス燃料装置		ガス漏れ、導管のき裂・損傷、ポンベ取付け金具の緩み・損傷	目視、検知器、レンチ等	—	—
	5	プローバイガス還元装置		バルブの作動、配管の詰まり・損傷	目視、聴診	✓	
	6	冷却装置	★	水量、汚れ、漏れ、ホースの損傷・老化、ラジエーター・キャップの機能 ベルト(たるみ、摩耗、損傷)、ファン・カバのき裂・変形・緩み	目視、触診	✓	
	7	点火装置		キャップのき裂、コードの損傷・はり込み、ポイントのすき間・焼損 プラグの焼損・破損、Trunkの緩み・損傷、点火時期の適否	目視、触診	✓	
	8	電気装置	★	充電装置機能、バッテリー液量・端子緩み・腐食、配線緩み・損傷	目視、触診、電流電圧計	✓	
	9	クラッチ		異音、切れ、接続、ペダルの遊び、油量、汚れ、油漏れ	目視、操作、聴診	✓	
走行装置	10	トランスミッション		レバーの作動・抜け、異音、油量、汚れ、油漏れ	目視、操作、聴診	✓	
	11	トルクコンバーター		異音、油量、汚れ、油漏れ、レバーの作動、クラッチの切れ具合	目視、操作、聴診	—	—
	12	プロペラシャフト		振れ、ぶれ、損傷、ボルトの緩み・損傷・脱落	目視、触診、レンチ等	✓	
	13	デファレンシャル		異音、油量、汚れ、油漏れ、取付けボルトの緩み	目視、聴診、レンチ等	✓	
	14	ファイナルドライブ		異音、油量、汚れ、油漏れ、取付けボルトの緩み	目視、聴診、レンチ等	—	—
	15	フロントアクスル		き裂・損傷、変形、取付けボルトの緩み	目視、レンチ等	✓	
	16	リヤアクスル		き裂・損傷、変形、センター・レンがた、キャップ取付けボルトの緩み	目視、操作、レンチ等	✓	
操縦装置	17	ホイール(タイヤ)		空気圧、き裂・損傷・磨耗、金属片等のかみ込み、ペアリング・レンがた ナット・ボルトの緩み、ホイールディスクのき裂・損傷・変形	目視、イヤーディスクゲージ	✓	
	18	ハンドル		振れ、取り外し、戻り具合、重さ、ホイールの遊び、緩み・がた	目視、操作、触診、スケール	✓	
	19	ギヤーボックス、ステアリングバルブ		油量、汚れ、油漏れ、取付けボルトの緩み・脱落	目視、レンチ等	✓	
	20	ロッド、アーム類		き裂・損傷、曲がり、がた、ブーツのき裂、取付けボルトの緩み・脱落	目視、触診、レンチ等	✓	
	21	ナックル		ペアリング、キング・ボルトのガタ・異音、き裂・損傷	目視、触診、聴診	✓	
	22	かじ取り車輪		左右旋回半径(右 2030mm・左 2040mm) ストップ・ボルトの緩み・脱落、車輪と他の部分との接触	目視、レンチ等	✓	
	23	パワーステアリング装置		油漏れ、ホース等の損傷・老化、ボルトの緩み・脱落、車体との干渉	目視、触診	✓	
制動装置	24	ステアリングチェーン等		張り、損傷、摩耗	目視、触診	—	—
	25	走行ブレーキ		ペダルの遊び、床板とのすき間、効き具合、エア混入	目視、操作、触診、スケール	✓	
	26	駐車ブレーキ		効き具合、引張力、レバー引きしろ、ラチック部の損傷・摩耗	目視、操作、はかり	✓	
	27	ロッド、リンク、ケーブル類		損傷、緩み、がた、割りの欠損	目視、触診	✓	
	28	ホース、パイプ		油漏れ、エア漏れ、損傷・老化、取付けボルトの緩み・脱落、車体との干渉	目視、触診、レンチ等	✓	
	29	オイルブレーキ		マスター・リィンダー・ホイール・シリンダーの作動、油量、汚れ、油漏れ	目視、操作	✓	
	30	エアブレーキ		チャンバーロッドのストローク・戻り具合、エア漏れ、油漏れ	目視、スケール、検知器	—	—
	31	ブレーキ倍力装置		チェック弁・リレー弁の作動、エア漏れ、油漏れ	目視、操作、検知器	—	—

半間保存

証明書
発行No.

標章No. 082918

No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良	検査結果 不良	補修 内容
32	ブレーキドラム、ブレーキシュー	すき間、ライジングのはく離・損傷・摩耗、アンカーベンの腐食 スプリングのへたり、ドライブのき裂・損傷・摩耗、取付けボルトの緩み	目視、操作、ノギス 目視、触診、レンチ等	✓		
33	パックプレート	き裂、損傷、変形、取付けボルトの緩み	目視、レンチ等	✓		
34	ブレーキディスク、パッド	パッドの引きずり・厚さ、ピストンの油漏れ ディスク・キャリパーのき裂・損傷・摩耗、取付けボルトの緩み	目視、ノギス 目視、レンチ等	—	—	—
35	駐車ブレーキドラム、 ライニング(センター式)	すき間、スプリングのへたり、ドラム取付けボルトの緩み・脱落 * ドラムのき裂・損傷・摩耗、* ライニングのはく離・損傷・摩耗	目視、レンチ等	—	—	—
36	フォーク	止めピン部の変形・き裂・摩耗、フォーク先端の開き・段差・曲り 根元部(測定値35mm)、アッパー・ロアーフork部のき裂・摩耗	目視、触診、ノギス 探傷器、ノギス	✓		
37	マスト、リフトブラケット	マストの変形・き裂・損傷、ローラーの摩耗・かたまり、ピン部のき裂 マストサポート部のがた、キャップ取付けボルトの緩み	目視、触診 目視、操作、レンチ等	✓		
38	チェーン、チェーンホイール	チェーンの張り、伸び、き裂・変形・損傷・摩耗 ホイールの変形・損傷・かたまり	目視、触診、ゲージ 目視、触診	✓		
39	アタッチメント装置	本体への取付け状態、各部のボルト・ナットの緩み 各部のき裂・変形・損傷・摩耗、各部の作動・異音	目視、レンチ等 目視、触診、聴診	—	—	—
40	作動油タンク、フィルター	タンクの油漏れ・油量・汚れ、 ④ フィルターの汚れ・目詰り・損傷	目視、触診	✓		
41	配管 (ホース、高圧パイプ)	本体 き裂、損傷、老化、ねじれ、油漏れ、取付け状態、ボルト・ナットの緩み アタッチメント き裂、損傷、老化、ねじれ、油漏れ、取付け状態、ボルト・ナットの緩み	目視、触診、レンチ等 目視、触診、レンチ等	✓		
42	油圧ポンプ	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱	目視、操作、触診、触診	✓		
43	油圧モーター	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱	目視、操作、聴診、触診	—	—	—
44	シリンダー	リバウンド用 サイドフェーク用 タイヤ用 アタッチメント用	作動、油漏れ、打撃、き裂、曲がり、擦り傷、取付けボルトの緩み 作動、油漏れ、打撃、き裂、曲がり、擦り傷、取付けボルトの緩み	目視、操作、レンチ等 目視、操作、レンチ等	✓	
45	自然降下量、自然前傾量	自然降下量(120mm/10min) 自然前傾量(10mm/15min)	スイベル、タワー	✓		
46	方向制御弁 (コントロールバルブ)	作動、油漏れ、取付けボルトの緩み リリーフ圧力(リフト18.0MPa) (ティルト14.7MPa)	目視、操作、レンチ等 油圧計	✓		
47	電磁弁	作動、異音、異常発熱、油漏れ	目視、操作、聴診、触診	✓		
48	車体、車体	き裂、変形、取付けボルト・ナットの緩み・脱落	目視、レンチ等	✓		
49	キャブ	き裂、変形、腐食、雨滴り、ドアの開閉状態、ロック、かたまり、破損	目視、触診	✓		
50	座席(調整機構、シート、背もたれ)	作動、取付けボルトの緩み、シートベルト、損傷	目視、操作、レンチ等	✓		
51	昇降設備、滑り止め	き裂、損傷、変形、取付けボルトの緩み	目視、レンチ等	✓		
52	表示板	損傷、取付け状態	目視、触診	✓		
53	ヘッドガード、バックレスト	取付けボルトの緩み、き裂、変形、損傷	目視、レンチ等	✓		
54	灯火装置、方向指示器、計器類	作動、取付け状態、破損、水浸入	目視、操作	✓		
55	警報装置、後写鏡、反射鏡	音量、音質、汚れ、損傷、写影、取付け状態	目視、操作、聴診、触診	✓		
56	給油脂	給油脂状態、自動給油脂装置の作動	目視、操作	✓		
57	安全補助装置	各安全装置の機能確認	目視、操作	✓		
58	総合テスト	各装置の機能(走行・作業テスト)	目視、操作、聴診、触診	✓		
★	一酸化炭素等発散防止装置	触媒等の緩み・損傷、排気温度警告装置の配線緩み・損傷、排ガス減少装置のホース・パイプの緩み・損傷	目視、聴診、レンチ等	—	—	—
事業者 要請 への等	次回特定自主検査実施年月	平成30年5月				
	タイヤ、方向指示器に関する補修、交換をお願い致します。					

補修等の措置内容

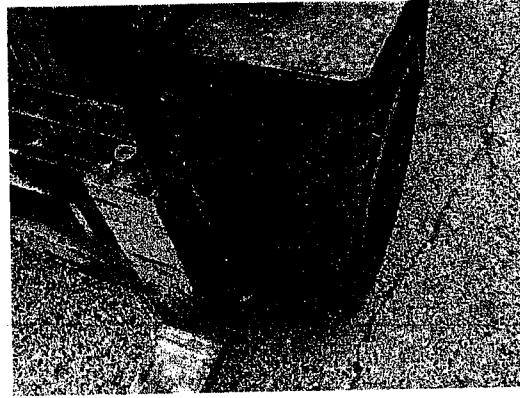
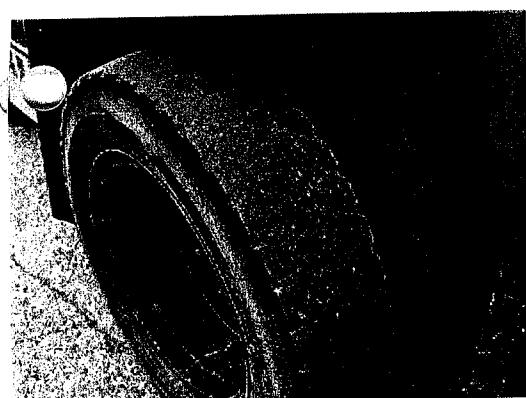
照合No.	補修箇所及び不具合状況	補修年月日	補修実施内容							
17	西側外側タイヤの摩耗 右側タイヤの亀裂、損傷									
54	方向指示器の不備									
備考	1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良いに、また異常なものは不良の欄に「✓」印の記号を記載する。 2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。 3. 検査内容に*印が付けられた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は*印を○で囲む。 4. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。また補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。 5. 道路運送車両法(昭和26年法律第185号)の適用を受ける(車検を受けて登録番号を取得した)機械は、荷役装置又は作業装置以外の部分について実施し、その点検を行なったことが記録等により確認されるものについては、当該部分に係る自主検査を省略して差し支えないものであること。 6. No57安全補助装置は、定期自主検査の公表後において新たに装備されたものであり、追加検査項目とした。 7. ★印は「安衛法」と「建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの抑制を図るための指針」との共通検査項目であり、★★印は同指針のみの検査項目である。	記号	交換	修理	調整	締付	清掃	給油	水	
		X	△	A	T	C	L	—	該当なし	

ヨタ5 F GL 20 (浦河町 の 848)

ヤタイヤ損傷



フロントタイヤ溝無し



方向指示器の不点灯

